



2016(平成 28)年 4 月 20 日発行 30 号 (通常隔月 25 日発行)

社会福祉法人 サンフレンズ 法人事務局地域福祉推進担当広報

〒167-0023 東京都杉並区上井草 3-33-10

☎ 03-3394-9833 Fax 03-3394-9834

メール hozumi-kaneko@3friends.or.jp

ホームページ http://www.3friends.or.jp/



サンフレンズがつくった喫茶店
正式名称は、**サンカフェ上井草**
4月10日、華やかオープン

ボランティアスタッフ 13 名、喫茶来場者 46 名、コンサート参加者のべ 120 人。皆さんに感謝・感謝です！



(写真左) 記念すべき最初のお客さまです。

(写真右) 金子ファミリー楽団。元職員のお母さん達がそれぞれの子どもを連れて応援に駆け付けてくれました。

(写真左) 村松啓三郎さんの蓄音機コンサート。SP盤の懐かしい音楽がラッパから蘇りました。
(写真右) 平塚元一さんのハーモニカ。『荒城の月変奏曲』の独演には会場の皆が魅了されました。



サンカフェ上井草 5月8日(日) 出演予定

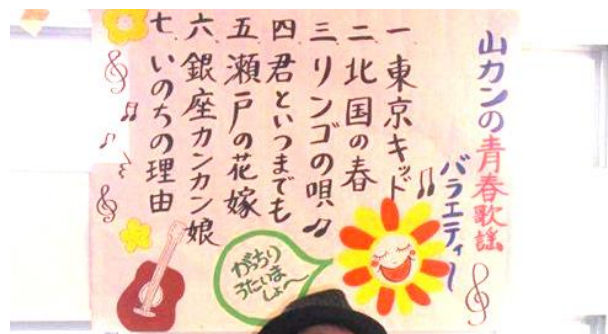
毎月第2日曜日、出演者・タイアップイベント募集中!



11:00-12:00
『アコーディオンで歌おう』
出演：金子穂純



13:00-13:30 『南京玉すだれ&手話ダンス』
出演：梅寿会りんご会の皆さん



14:00-15:00 『青春歌謡バラエティー』
出演：大園節生さん

昭和歌謡や唱歌のギターによる弾き語り。
みんなで歌う参加型の音楽会です。



あなたも出演してみませんか?



10:00-16:00 展示ギャラリー
『美味礼画』『風景のスケッチ(外国の街並み)』
出展：小峯重信さん

サンカフェ上井草は、毎月第2日曜日の10時から16時、社会福祉法人サンフレンズが介護施設を地域に向けて開放する喫茶サロン。同時に月替わりでイベントを開催していきます。出演料・交通費等の支給はありませんが、必ずやあなたの活動を地域に知っていただく良いチャンスになるはず。出演してくださる方、作品展や講座等のタイアップイベントを募集しています。

主催：社会福祉法人サンフレンズ カフェサロン上井草運営委員会

お問い合わせ：社会福祉法人サンフレンズ事務局地域福祉推進担当 ☎ 03-3394-9833

メール hozumi-kaneko@3friends.or.jp ホームページ [サンフレンズ](#)

連載 この人・この曲 ～第27回 大園節生さん「千の風になって」～



小学生の時、従妹の美人高校生が弾き語りするの
に憧れて、ギターを始めたという大園さん。

そんな大園さんの思い出の曲は『千の風になって』。2005年の3月、西武線の踏切事故でお父さまが亡くなりました。まだ70歳でした。いつも元気一杯だったお父さまの突然の死に、大園さんもお母さまも深く悲しみ傷つきました。そんな時、テレビから流れてきたのがこの曲。長年ビール会社に勤めていたお父さまはお酒もお好きだったので、お母さまはこの曲を聴き「今もまだどこかで飲み歩いているのかもしれないね」とつぶやき、それから少しずつお元気になられたとのこと。歌には人の悲しみを和らげる力があることを思い知らされたそうです。「父はビール会社を定年退職した後、地元の老人保健施設で働いていました。僕が介護施設で歌うようになったのも、父が導いてくれたのだと思っています。今回縁あってサンフレンズさんとお付き合いさせていただくことになったのは、悲しみを乗り越えるために力を与えてくれたこの曲の計らいのような気がしてなりません。」大園さんはこう語ってくださいました。

『千の風になって』 新井満 訳詞・作曲 この曲を You Tube で聴いてみよう→<http://www.youtube.com/>

この曲の原詩『Do not stand at my grave and weep』は、1932年にアメリカ人のメアリー・フライという主婦が友人の母が亡くなった際に書き、それが人から人へ伝わっていつの間にか世界中に広まったものと言われています。

2001年、シンガーソングライターの新井満の幼馴染みの友人が、若くして奥さんをガンで亡くします。この奥さんを追悼する文集の中に『Do not stand at my grave and weep』の翻訳詩が掲載されていました。それを一読して心底から感動した新井満は、これを歌にして残された家族の心をほんの少しくらいは癒すことができるのではないかと、原詩を探し出し、日本語訳詩をつくり、それにメロディーをつけました。原詩にある "I am a thousand winds that blow" から『千の風になって』というタイトルがつけました。当初、新井満はこの曲のCDを

30枚のみプレスして知人にのみ配布していましたが、2003年8月28日付の朝日新聞朝刊『天声人語』で『Do not stand at my grave and weep』が取り上げられた際に新井満の訳詩が紹介されると、少しずつ話題となっていきました。その後、何人かのアーティストによって、この詩や歌が取り挙げられてはいましたが、広く日本国民に知られることになったのは、2006年の第57回NHK紅白歌合戦での秋川雅史による歌唱。その翌日には元旦であるにも関わらず、この曲のCDについての問い合わせがレコード店に殺到したと言われています。

「新井満ホームページ・マンダーランド通信」「ウィキペディア」から一部引用させていただきました。

今号のゲストは、4月から上井草ふれあいの家とカフェサロン上井草に出演して下さることになった大園節生（おおそのせつお）さん。大園さんは東村山市のご出身。私たちと同様に介護施設でお仕事をされています。2011年から音楽ボランティアを開始。現在は毎月1～2回、様々な施設にて演奏されています。2012年には音楽ヘルパー2級の資格を取得されました。大園さんの活動は「青春歌謡バラエティー」と題した昭和歌謡や唱歌のギターによる弾き語り。歌を聴いていただくだけでなく、みんなで歌う参加型の音楽会です。

大園さんのお父さまは会社の合唱団の指揮者をしていらっしゃるくらい音楽好き。お母さまは若い頃にバスガイドをやっていたり、お客さんの前で歌っていたそうです。二人が結婚した時には、冷蔵庫や洗濯機よりも先にステレオを買ったそうで、今でも実家には昭和歌謡のレコードがたくさん残されているとのこと。そんな環境で育った大園さんが音楽好きになったのは、ある意味当然のことかもしれません。

私のお墓の前で 泣かないでください
そこに私はいません 眠ってなんかいません
千の風に 千の風になって
あの大きな空を 吹きわたっています

秋には光になって 畑にふりそそぐ
冬はダイヤのように きらめく雪になる
朝は鳥になって あなたを目覚めさせる
夜は星になって あなたを見守る

私のお墓の前で 泣かないでください
そこに私はいません 死んでなんかいません
千の風に 千の風になって
あの大きな空を 吹きわたっています



第2回 ふれあい音楽祭 in 永福

男声ダブルカルテット BHC (ベーハーコール) 田村典子チーム
混声合唱 大宮中学校 OB・OG コーラス・指揮：岩崎雄治郎
大正琴 STO (サンフレンズ大正琴オーケストラ)
ジャズ あいあいコンボ featuring 久我謙二



アルペン・ヨーテル 熱田健 (特別出演) **朗読** 齊藤まち&麻田枝里 (友情出演)

日時：5月15日(日)

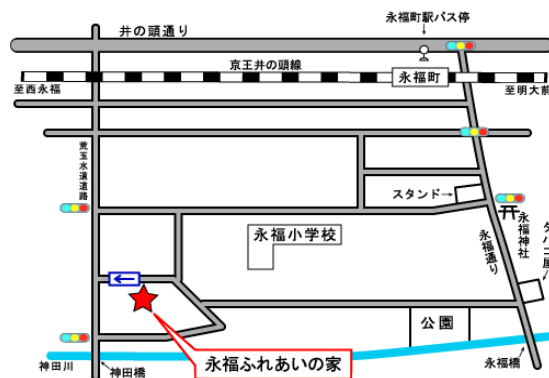
午後1時開場、1時30分開演

場所：永福ふれあいの家

杉並区永福 2-14-20 京王線永福町下車徒歩12分

☎03-3327-5811 (当日連絡先)

入場無料・申込不要



主催：社会福祉法人サンフレンズ ふれあい音楽祭実行委員会
お問い合わせ：社会福祉法人サンフレンズ事務局地域福祉推進担当 金子 ☎03-3394-9833
メール hozumi-kaneko@3friends.or.jp ホームページ [サンフレンズ](#)